

東日本大震災 京都民医連支援ニュース

京都民医連対策本部 NO 31 2011年4月21日

「綾部から、今私たちができることを」

5月10日・17日9:00～12:00
震災支援バザー開催
被災地へ引き続き支援を

東日本大震災から1ヶ月以上が経過しました。被災地では復興にむけての取り組みが始まっている所もあります。しかし、難航する行方不明者の捜索や、原発被害の問題など、まだまだ先行きの見えない状況です。

民医連は震災発生直後より、全国から私たちの仲間が救援に現地に入り、その活動はたびたびテレビや新聞でも報道され、京都から多くの民医連職員が参加をしています。

「綾部から、今私たちができることを」と
5月10日(火)・17日(火)9:00～12:00 支援バザーを開催することにしました。

品物は連休明けの
5月7日(土)までに
1階友の会事務所へ
お願いします

販売を手伝っていただ
ける方を募集しています
短時間でも結構です
友の会事務所までご連絡を

民医連、近畿地協からの新しい支援提案にそって支援者を依頼しています。ほぼ5月度支援者も確定してきています。追ってご紹介させて頂きます。

対策本部よりお知らせします

京都協立病院では、震災支援に何か取り組みたいと話し合い、綾部健康友の会との共催で震災支援バザーに取り組むことが決まりました。

現地支援とあわせて、中長期支援への取り組みとして地域、共同組織のみなさんと「私たちに出来ること」は何か話し合い、様々な取り組みを行い被災地を励まして行きましょう！

(左は協立病院発バザー開催ニュース略)

*ステーションあかり西院事業所に、仙台で被災され、着の身着のままで京都に避難してこられた方のサービス申し込みがありました。早速、県連事務局に届けられていた支援物資の中から洋服等を利用して頂きました。

*「4月月内の支援者のご紹介です」

今回ご紹介させて頂

く皆さんが、残りの4
月月内の支援予定者
です。気をつけて行っ
て来てください。

*5月からは全日本

事業所	氏名	職種	支援開始日
吉祥院	久保田裕子	看護師	20日出発
中央	丸本純子	看護師	20日出発
上京	毛利 等	看護師	20日出発
あらぐさ	高尾 勝	事務	20日出発
中央	村上純一	医師	21日出発
第二	誉田香織	看護師	24日出発
第二	天羽啓子	看護師	24日出発
吉祥院	吉田有希	看護師	24日出発
中央	山田和伸	看護師	24日出発
中央	佐々木絵美	看護師	24日出発
シグマ	井上 翼	事務	24日出発
あゆみ	神鳥恵理	薬剤師	25日出発
すこやか	鄭 美玲	薬剤師	26日出発

「全日本民医連支援ニュース NO.37」「全日本民医連支援ニュース NO.36」を読んで信和会から質問がありました。本部で調査・検討した結果、以下の内容で各法人での対応をお願いします。

全日本バスは5月中旬まで運行となっている件

月中旬以降は、バスの小型化を検討中とのことです。万が一、廃止ということになれば、東北新幹線が4月末頃復旧見込みですので新幹線に切り替えます。

支援者のボランティア保険加入について

全日本民医連の意図は、非常勤職員や学生、海外在住の元職員などの支援者が現にあり、それを想定した保障問題として発信されているようです。常勤職員は、軽・重に関係なくこれまで通り労災対応をお願いしたいと思います。もし今後、非常勤等の支援登録がある場合は、法人・事業所でボランティア保険の加入手続きをお願いすることになります。